

平成 17 年度環境技術実証モデル事業検討会  
非金属元素排水処理技術ワーキンググループ会合（第 1 回）  
議事要旨

1. 日時：平成 17 年 5 月 25 日（水） 10：00～11：30
2. 場所：環境省 第 4 会議室
3. 議題
  - （1）平成 16 年度第 2 回会合議事概要について
  - （2）実証試験要領について
  - （3）実証機関の募集について
  - （4）実証機関への応募団体からのヒアリング
  - （5）実証機関の選定について
  - （6）今後の検討スケジュールについて
  - （7）その他
4. 出席検討員 藤田正憲（座長に選出）、小坂幸夫、滝沢英夫、名取眞、宮崎章
5. 配付資料
  - 資料 1 非金属元素排水処理技術ワーキンググループ会合（平成 16 年度第 2 回）  
議事概要
  - 資料 2 非金属元素排水処理技術実証試験要領
  - 資料 3 平成 17 年度環境技術実証モデル事業 非金属元素排水処理技術分野  
実証機関の応募の受付開始について
  - 資料 4 （審査結果記入用紙 非公開資料）
  - 資料 5 （各団体からの申請書類 非公開資料）
  - 資料 6 今後の検討スケジュールについて（予定）

参考資料

- 1 環境技術実証モデル事業実施要領
- 2 非金属元素排水処理技術ワーキンググループ設置要綱  
環境技術実証モデル事業パンフレット

6. 議事

会議は非公開で行われた。

- （1）平成 17 年度第 2 回会合議事概要について

・資料 1 を配付し、意見等については事務局が個別に受け付け対応することとなった。

( 2 ) 実証試験要領について

- ・事務局から、資料 2 に基づき、実証試験要領について、前回のワーキンググループ会合での議論における指摘を踏まえ修正した上で、公表したことについて説明。

( 3 ) 実証機関の募集について

- ・事務局から、資料 3 , 資料 4 に基づき説明。

( 4 ) 実証機関への応募団体からのヒアリング

- ・全応募団体に対するヒアリング及び質疑が行われた。

( 5 ) 実証機関の選定について

- ・ヒアリング結果に基づき、検討員が各団体の適性を評価した。検討員からは、実証機関毎に課題と対応方針が指摘された。ただし、実証機関として不適切な機関は無いことで承認され、実証機関の選定ならびに課題への対応については、環境省事務局に一任された。

( 6 ) 今後の検討スケジュールについて

- ・事務局から、資料 6 に基づき説明。
- ・次回のワーキンググループ会合は、11 月を目途に開催し、実証試験要領の見直しの検討を行う予定である旨、事務局から説明を行い、了承された。

( 文責：環境省水環境部水環境管理課 速報のため事後修正の可能性あり )